

'98 都市ビル環境の日



— 行事プログラム —

社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

主催

社団法人
福岡県ビルメンテナンス協会

〒812 福岡市東区博多駅前1丁目5番12号 協会ビル4階
TEL:092/4311641 FAX:092/4310439

後援

福岡県

協賛

財団法人ビル管理教育センター
社団法人福岡ビルデング協会
社団法人福岡県豊業協会
社団法人福岡県産業廃棄物協会
日本環境管理学会九州支部
社団法人高層住宅管理業協会九州地方支部
社団法人建築物飲水管理協会福岡県支部
全国管洗浄更正協会
福岡県ベストコントロール協会
福岡ガラス外装クリーニング協会
福岡県ビル管理協同組合連合会

10月4日 『都市ビル環境の日』

設定趣旨

コミュニティの快適な 環境創造をめざして

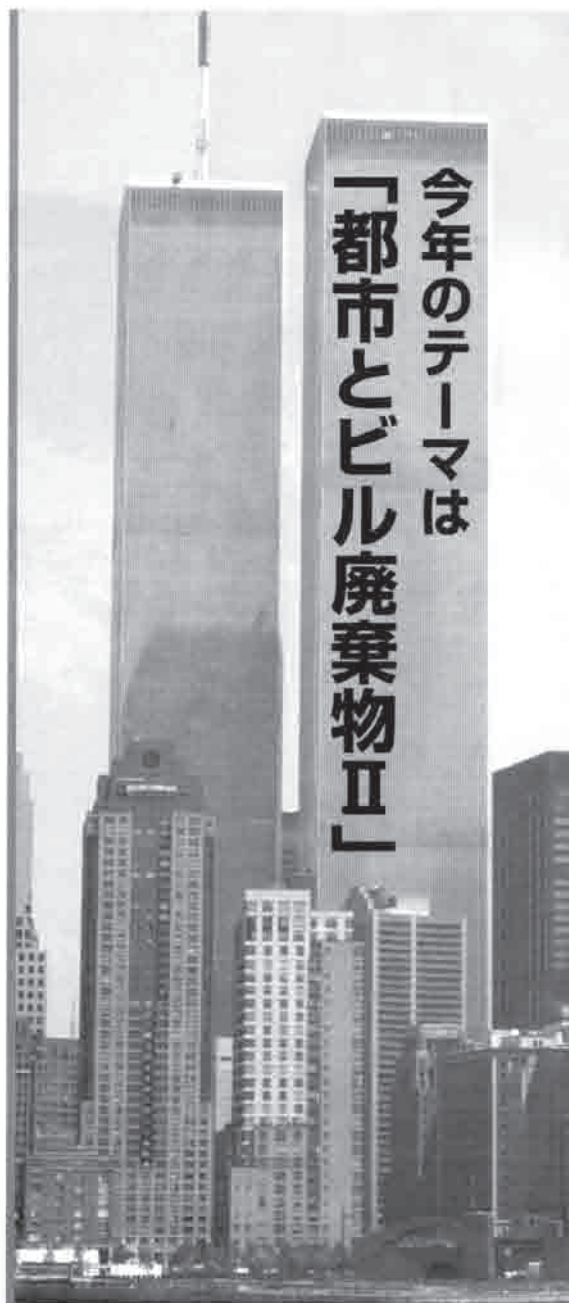
林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都州のイメージは巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けていく多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、さまざまな都市空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の場としての事務所ビル、生活の場としての高層住宅ビル、余暇の場としての興業場ビル、健康回復の場としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれるさまざまなコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全で衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸い自然と身近に接する環境を有しています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

私たち社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を『都市ビル環境の日』と定め、県民に都市の環境づくりをアピールしていきます。



都市ビル環境の日'98

「ビル廃棄物の衛生的減量管理」

大都市圏におけるゴミの量は、近年減少傾向にあるとはいえ、依然として高い水準にあります。特に事業系廃棄物の占める割合は全廃棄物量の過半を占め、ゴミ減量化の課題の多くをビルが背負っています。

廃棄物は直接または焼却、粉砕などの中間処理を経て、最終処分場に至りますが、近年、その最終処分場用地の確保がきわめて窮屈になりつつあり、また、ダイオキシン類などの環境問題からも、ゴミの減量化は猶予のない緊急の課題と言わねばなりません。ゴミの減量化は排出の抑制と再生利用（リサイクル）促進以外に実現の方法はありません。1991年、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の大改正と「再生資源の利用の促進に関する法律」の制定、さらに1995年「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」の制定によって、排出抑制とリサイクルのための法的整備が進みました。しかし、ゴミ減量化への国民意識の高揚、リサイクルの経済性確立などが、なお遅々として進まない現状のなかで、ゴミ問題の緊急性は以前にも増して強まっています。

コピー機やFAX、あるいはワープロ、パソコンなど、OA機器の導入とともに、オフィスビルは紙ゴミで溢れかえっています。ペーパーレスを実現するといわれたパソコン・ネットワークも、まだ紙減量に貢献するまでには至っていません。リサイクルのためには、新聞・雑誌類や一般紙とは分別の必要があります。その他、オフィスビルには缶やビン、段ボール、廃プラなどが排出され、これらもまた分別を要求されています。デパートやスーパーマーケットでは、発泡スチロールの梱包廃棄物や段ボールが大量に排出されます。ホテルでは、さらに大量の厨芥が排出されます。

これらの廃棄物が分別され、持ち出しやすいように梱包されて、ビル外に運び出されなければ、リサイクルの可能性はありません。分別が排出者（ビルテナント等）によって完全になされなければ、分別や梱包、そしてゴミ集積所への運搬などの「ビル内中間処理」の作業が、ビルメンテナンス業者の側にのしかかってきます。現状において程度の差はあれ、それらの作業をビルメンテナンスが負担していることは間違いのない事実です。さらに、廃棄物保管所は多くのビルで十分な広さをもっておらず、分別ゴミをストックすることさえ難しいのが現状です。

法律は残念ながら、ビル内のゴミ処理については触れていません。ビルゴミに対して誰が責任を持つべきなのか、もっとも原初的なところから問い直してみる必要があります。ゴミを排出し、そのゴミを市町村、あるいは廃棄物処理業者が持つていくまでの責任が誰にあるのか、それに対する明確な回答を出すことが、ビル廃棄物の再資源化の可能性を作り出していくでしょう。都市においてビル廃棄物の再資源化が、日本全体におけるゴミ減量化の重要な課題であるとするならば、ビルに関係する全ての人々がそれぞれの立場で問題に取り組んでいかなければなりません。



(社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長
末吉 桓寧

全国的に注目される行事として、
より付加価値の高い情報を
発信したい。

福岡県をはじめとする関係行政、並びに関係団体、関係業界の皆様のご指導、ご協力をいただきながら、「都市ビル環境の日」も4年目を迎えることができました。関係各位のご支援を衷心より深く感謝申し上げます。また、本行事を企画・実施し、積極的なご参加をいただいております福岡県ビルメンテナンス協会の会員各位に対し、心よりの謝意を表する次第でございます。

ビルメンテナンス業は戦後40数年の歴史の中で、ビル管理の総合的サービス業として事業を拡大して参りましたが、いまビルメンテナンスの業務内容を改めて位置づけるならば、ビルの美観、衛生、安全、利便、そして保全などを目的としたビル管理業務の総体といえるのではないかと思います。さらに、これらのビル管理業務の目的は、ビル内だけで完結するものではなく、周辺のコミュニティや都市との結びつきの中で達成されていくべき問題であろうと思います。それは、ビル自体が不特定多数の生活者、すなわちコミュニティや都市の構成員によって利用されているという理由からだけでなく、都市に様々なリスクや負荷を背負わせている側面もあるからです。大災や爆発は、その最も典型的な事例です。レジオネラ症候群の発生も、都市にリスクを与えております。そして、ビル内で発生する廃棄物は、都市に極めて大きな負荷を与えているのです。

明年に引き続いて、本年の「都市ビル環境の日」も「ビル廃棄物」をテーマとさせていただきます。ビル管理業務の目的を都市との結びつきで考えるという意味で、ビル廃棄物はまさに「都市ビル環境の日」にとって最大のテーマの一つであろうと考えます。今回の講演・シンポジウムでは、ビルが特に都市に対する廃棄物責任をどのように果たしていくか、考えてまいりたいと思っております。ビルオーナーはビルオーナーの、ビル利用者はビル利用者の、そしてメンテナンスはメンテナンスの、それぞれの立場に見合った負担をしていく必要があります。

今年もビル管理技術者のセミナーを開催致しますが、このセミナーを通して、ビル管理技術者の皆様が都市社会との結びつきの中で、ビル管理業務の目的達成に向けてご尽力いただければ、誠に幸いです。

今や「都市ビル環境の日」は、回を重ねるごとに全国の同業者からも注目されるイベントとなりました。この福岡の地から何を発信していくのか、多数の方々のご参加によって大いに議論を巻き起こし、これまでも増して大きな成功を導いて参りたいと存じます。何卒よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。



福岡県知事
麻生 渡

記念行事の成果を活かし、
快適な環境づくりへの
なお一層の貢献に期待します。

「都市ビル環境の日」記念行事が盛大に開催されましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会が、長年にわたり、建築物のより衛生的な環境や安全性の確保を目指して関係業者の指導育成に努力され、着実にその成果をお認められてこられたことに対し、深く敬意を表します。

近年、ゴミの減量化・資源のリサイクル化など、さまざまな環境問題の解決が課題となっており、ゆとりと潤いのある暮らしを確保する上で、仕事の間、生活の間としての建築物においても、より一層の快適性、安全性を考慮した環境づくりが重要となっています。

このようななか、貴協会が全国に先駆けて平成7年に10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、毎年さまざまな問題について研究してこられました。今年も昨年に引き続き、「都市とビル廃棄物」をテーマとして建築物環境衛生管理技術者セミナーやシンポジウムが開催されますが、この行事は本県の環境問題を解決するうえで誠に意義深く、心からご賛同申し上げます。

また、参加される皆さんには、記念行事での成果を活かしていただき、建築物におけるより快適な環境づくりに、なお一層貢献されることを期待いたします。

原では、「快適な潤いのある循環型社会づくり」を推進するため、今年3月に「福祉のまちづくり条例」を制定しました。今後とも環境問題解決に向けて、各種施策に積極的に取り組ましますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

記念行事のご成功と貴協会のますますのご発展、皆さんのご健勝を心から祈念いたします。



福岡市長
桑原 敬一

都市のより快適な環境づくりを
めざし、専門知識・情報の
活発な交換を。

第4回「都市ビル環境の日」の式典が盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

また、本市の環境衛生行政、とりわけ最重要といたしておりますごみ減量・再資源化への取り組みの推進につきましては、事業者の方々並びにビルの衛生管理に携わっておられます皆様方にご尽力、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

近年、大規模化・高度化・複雑化してきた建築物に対応する適切な設備システムの運営や経年化した施設の保全・維持管理、さらには、室内汚染化学物質やごみ減量化等のビル内の問題から、地球温暖化やオゾン層破壊等の地球的規模の環境問題等、さまざまな課題が生じております。

このような状況の中、人々が日々大半を過ごす建築物について衛生的でより快適な環境の確保に日々努めておられます皆様方の役割は、ますます重要なものとなっております。

このような時期に、本大会が開催され、専門的な知識や情報の交換の場であるセミナー・シンポジウム、また、都市の快適な環境づくりのアピールを目的としたグリーンアップ福岡等の様々な催しが実施されますことは、誠に意義深いことであり、この大会が多岐な成果を取め、業界の発展に大きく寄与されますことを期待いたします。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を心からお祈りいたします。



北九州市長
末吉 興一

地域の環境衛生への貢献に、
深く敬意を表します。

第4回「都市ビル環境の日」の記念式典が盛大に開催されましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会をはじめビルメンテナンス業界の皆様には、日ごろから建築物の安全性や快適性の維持管理を通して、地域の環境衛生のために活躍されており、そのご尽力に深く敬意を表します。

職場や住居の場であるビルは、近年の大型化や多機能化に伴い、膨大な量の廃棄物を生み出しています。それら廃棄物の処理及び有効利用は、ビルの管理者や利用者はもちろん、行政にとっても重大な関心事です。

本市では、ごみ対策として、これまでの「ごみ処理重視型」から、「資源リサイクル型」への転換を目指して、缶・ビン分別収集の実施や、ごみ発電による熱回収などさまざまな取り組みを行い、ごみの資源化・減量化を進めてきました。さらに新しい取り組みとして、ペットボトルの分別収集を平成9年11月から開始し、また、家庭から出る一般ごみの持ち出しに、平成10年7月から指定袋制を導入しました。これらの施策によりごみの減量化などが図れるものと考えていますが、ごみに係る諸問題は、一朝一夕に解決できるものではありません。長期的視野を持って検討していくべき課題と思っております。

このような時期に、昨年引き続き廃棄物問題を取上げた「都市とビル廃棄物」 というテーマで、地元関係業界の方々から各種の記念行事に取り組みをされますことは、誠に意義深いものです。

毎年、時宜を得たテーマで本事業の成功を取めておられる皆様には、本年もこのセミナー・シンポジウムで得られた貴重な成果を、今後の事業に活かしていただきたいと思います。そして、快適な都市環境の維持、発展に向けて大きく邁進されますことを心から期待します。

福岡県ビルメンテナンス協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

都市ビル環境の日'98

行事プログラム

日時:平成10年10月2日(金)10:00~16:30
会場:NTT夢天神ホール 岩田屋 Z-side7F

[午前の部]

建築物環境衛生管理技術者セミナー

10:00	開会挨拶	(社)福岡県ビルメンテナンス協会	会長	末吉 桓寧
10:10	来賓挨拶	福岡県保健福祉部生活衛生課	課長	古賀 政利
10:15	講演	(財)ビル管理教育センター	理事長	小川 博
11:00		(株)朝日ビルメンテナンス	代表取締役専務	金子 誠
11:30		九州美装(株)	取締役部長	古賀 修
12:00	閉会			

[午後の部]

シンポジウム「都市とビル廃棄物Ⅱ」

13:00	開会挨拶	(社)福岡県ビルメンテナンス協会	会長	末吉 桓寧
13:15	来賓挨拶	福岡県知事		麻生 渡
		福岡市長		桑原 敬一
		北九州市長		末吉 興一
13:25	基調講演Ⅰ	九州大学名誉教授		斎藤 文男
14:15	ビル内廃棄物に関するアンケート調査の結果発表			青年部
14:30	基調講演Ⅱ	足利工業大学専任講師		田中 毅弘
		休憩		
15:30	パネルディスカッション			
16:30	閉会			

[午前の部]

建築物環境衛生管理技術者セミナー

開催趣旨

ビル管理技術者は、ビル環境衛生管理を総合的に監督する技術的職務を担っています。それ故に、不得意の分野についても、また新たな分野においても、不断に知識・技術の修得に努力していかざるを得ません。

ビル廃棄物問題においても、廃棄物の減量化・再資源化・再利用を促進するためには、発生時点で再利用の可能なゴミと廃棄するゴミとの分別が徹底されなければなりません。そのためには、ビル関係者の果たすべき役割を討議・検討し、組織的な管理体制を整備する必要があります。

具体的には、ソフト面(適正な処理方法とその考え方)及びハード面(処理設備機器等)の両面に配慮した管理システムの確立とマニュアル化を図る事が重要です。

こうした状況を踏まえ、ビル管理技術者には、現状認識にとどまらず、的確な管理技術・手法の構築と推進に中心的役割を果たしていただきたいと思っております。

[講演]

テーマ/「地球環境とビル」

小川 博

(オガワ ヒロフミ)

財団法人 ビル管理教育センター 理事長

Profile

厚生省環境衛生局環境衛生課課長補佐(法制定当時)、富山県公害・厚生部次長、愛媛県保健部長、厚生省東北地方医務局長、公害健康被害補償予防協会理事、労働省労働保険審査会委員を歴任。現在、財団法人ビル管理教育センター理事長。医学博士。



テーマ/「ビル管理士の“場”を求めて」

ーロビンソン・クルーザーの行動原理ー

金子 誠

(オネコ マコト)

(株)朝日ビルメンテナンス代表取締役専務

Profile

昭和27年生まれ、早稲田大学卒業。
(財)建築物管理訓練センター九州支部指導講師
(社)福岡県ビルメンテナンス協会青年部顧問
(社)全国ビルメンテナンス協会BMネットワークワーキンググループ専門委員



テーマ/「ビル管理技術者への思い」

古賀 修

(コガ オサム)

九州美装(株) 取締役部長

Profile

昭和26年生まれ、早稲田大学卒業。
(社)福岡県ビルメンテナンス協会理事・事業委員長
(財)建築物管理訓練センター中央講師・地区指導講師
(社)全国ビルメンテナンス協会中央講師



シンポジウム「都市とビル廃棄物Ⅱ」

基調講演

基調講演Ⅰ

演題

「アメニティー都市とビル管理」



斎藤 文男

九州大学名誉教授
FBS「あんだいワイド」コメンテーター

Profile

昭和7年、和歌山県生まれ。
京都大学法学部卒業、大阪市立大学
大学院法学研究科（修士課程）修了。
九州大学で35年間教鞭をとり、二昨
年法学部を定年退官。
多くの自治体の各種審議会委員を務
める。専門は憲法、地方自治。
著書に専門書のほか、「冷めた紅茶」
「ちびた鉛筆」などのエッセー集も。

基調講演Ⅱ

演題

「エコ・シティへ向けてのHOW TO 廃棄物リサイクル！
～どんな仕組みを創り、どのように取り組むべきか～」



田中 毅弘

足利工業大学専任講師

Profile

横浜国立大学大学院博士後期課程修
了。工学博士。
日本学術振興会特別研究員として東
京工業大学、労働省所管東京職業能
力開発短大の講師を経て、現在、足
利工業大学工学部建築学科専任講師。

パネルディスカッション

コーディネーター



興膳 慶三

（社）全国ビルメンテナンス協会常務理事

Profile

昭和47年、九州大学卒業。
昭和50年、（社）全国ビルメンテナンス
協会入会。昭和55年より「ビルメンテナ
ンス」誌編集長（現職）。以後、業務部
長、事務局長、平成8年、常務理事就任。

パネリスト



田中 毅弘

足利工業大学専任講師

Profile

横浜国立大学大学院博士後期課程修了、
工学博士。日本学術振興会特別研究員と
して東京工業大学、労働省所管東京職業
能力開発短大の講師を経て、現在、足
利工業大学工学部建築学科専任講師。



中島 千雅

北九州市環境局資源化推進課長

Profile

昭和15年生まれ、神奈川中央高校卒業。昭
和36年北九州市役所入職。昭和38年北九
州市役所に合併。建設関係部局、議会事
務局、秘書室、区役所、経済局等を経て
平成7年4月より現職。



鶴田 伸生

（社）福岡県産業廃棄物協会専務理事

Profile

昭和13年生まれ、慶応義塾大学法学部卒業。
昭和39年福岡県に就職。以後、管財課課
長、庶務課課長補佐、県政情報課課
長、太宰府病院事務局長、用地課長、農
業総合試験場副理事兼管理部長を歴任し、
平成8年3月に退職。4月より現職。



金子 誠

（株）朝日ビルメンテナンス取締役専務

Profile

昭和27年生まれ、早稲田大学卒業。
（財）建築物管理訓練センター九州支部指導講師
（社）福岡県ビルメンテナンス協会青年部顧問
（社）全国ビルメンテナンス協会BMネットワーク
ワーキンググループ専門委員

青年部研究発表

ビル内廃棄物アンケート分析結果

（実施 平成10年7月）

項目	件数	総数	%
回答数	93	155	60.0
有効件数	272	277	98.2
ビルの用途区分			
事務所ビル	175	272	64.3
その他	32	272	11.8
デパート・S	28	272	10.3
雑居ビル	21	272	7.7
交通関係	5	272	1.8
未回答	11	272	4.0
計	272	272	100.0
ビルの規模			
3000㎡以下	74	272	27.2
～5000㎡以下	75	272	27.6
～10000㎡以下	51	272	18.8
10000㎡以上	53	272	19.5
未回答	19	272	7.0
計	272	272	100.0
地域区分			
福岡市地区	141	272	51.8
北九州市地区	71	272	26.1
その他	37	272	13.6
久留米地区	22	272	8.1
未回答	1	272	0.4
計	272	272	100.0
分別の有無			
している	236	272	86.8
していない	32	272	11.8
未回答	4	272	1.5
計	272	272	100.0
分別動機			
行政・条例	125	272	46.0
オーナー希望	75	272	27.6
管理会社希望	26	272	9.6
テナント希望	7	272	2.6
未回答	39	272	14.3
計	272	272	100.0
分別コスト負担			
管理会社	108	272	39.7
オーナー	106	272	39.0
テナント	23	272	8.5
共同	16	272	5.9
未回答	19	272	7.0
計	272	272	100.0
分別への取り組み			
予定はない	16	36	44.4
今後取り組む	13	36	36.1
未回答	7	36	19.4
計	36	36	100.0
貯留スペース			
不足	144	272	52.9
十分ある	124	272	45.6
未回答	4	272	1.5
計	272	272	100.0
契約への明記			
なし	203	272	74.6
明記	56	272	20.6
未回答	13	272	4.8
計	272	272	100.0
業務時間比率			
60%～30%	18	272	6.6
29%～20%	44	272	16.2
19%～10%	81	272	29.8
9%以下	107	272	39.3
0%	12	272	4.4
未回答	10	272	3.7
計	272	272	100.0

Clean-Up FUKUOKA

平成10年度 第4回「クリーンアップ福岡」に向けて

都市ビル環境の日の設定以来、「グリーンアップ福岡」も今回で4回目になりました。昨年は他業種（屋台組合）との共同作業、観光資源の清掃作業等、回を重ねるごとに、ビルメンテナンス業でなければ出来ないプロとしての技術を如何なく発揮し、マスコミまた県民の皆様に高い評価を頂きつつあります。初期の目的である、ビルメンテナンス業界のイメージアップや、地域社会へのアピールは確実に広がっており、と確信いたします。

今年は4回目、初心にかえり、新たなスタートの「クリーンアップ福岡」にしていきたいと思えます。協会に加入する155社3万3千名を超える全社員が10月11日午前10時より1時間、オーナーのご理解を頂き、管理しているビル周辺の清掃を行います。また、プロとしての技術を活かした都市美化推進のデモンストレーションを各地区毎に行います。

私たちビルメンテナンス業の使命は、快適で衛生的な環境を創造し、提供することです。この「クリーンアップ福岡」の活動を通して、県民の皆様に私たちの仕事の重要性を再確認して頂くと共に、仕事に誇りを持ち、社会にどのように貢献できるのかを問いたです良い機会にしていきたいと思えます。



第3回
「クリーンアップ福岡」
スナップショット

福岡地区



北九州地区



筑前・筑後地区



Clean-Up FUKUOKA

筑豊地区



第4回目の今年は、このような展開をめざします！

福岡地区

責任者
古田 純之輔 〔(株)旭商會〕

「クリーンアップ福岡」は、今年で4度目を迎えますが、これら各協会会員の皆様の御理解と積極的な御参加によるものであります。本年度は中洲整備の清掃作業及び公衆トイレの外壁タイル洗浄1ヶ所〔ガラスクリーニング協会参加〕、公衆トイレ周囲歩道洗浄を予定しています。又、行進コースとしては、冷泉公園→明治通り歩道→天神中央公園（解散式）を行う計画です。皆様の多数の参加による「クリーンアップ福岡」を福岡市民の方々にアピールできる10月11日にしたく、心より、お力添えをお願い申し上げます。

北九州地区

責任者
永野 雅信 〔日本エスエム(株)〕

「クリーンアップ福岡」の活動も第4回を迎え、前年は北九州市の台西として有名な日通市場横（日通橋）の三角公園（通称どんどん広場）の旭行トイレの洗浄作業と福岡太陽像の時計台清掃作業を実施しました。この作業は、市民の方々にビルメンテナンス業の仕事を知って頂く機会となり、クリーンアップ福岡の活動を市民にアピールする事ができたと思っております。本年度は、北九州市の表玄関として新築開業した小倉ステーションビル南口の公共通路（ペDESTリアンデッキ）床面タイルの洗浄作業を計画しています。又、同時に北九州市本庁舎南スタ一→平和通り→小倉駅のコースにて、ゴミ収集作業を実施していく事になっています。

筑豊地区

責任者
大塚 明人 〔三信ビル管理(有)〕

「クリーンアップ福岡」も今年で4回目を迎える運びとなりました。旭各地の会員の方には多大なる御協力を頂きながら成功裡に進んできた事を心より感謝申し上げます。会員企業の職労人口は3千余名が1丸となり、福岡県下で一番にこの「クリーンアップ福岡'98」が始まります。今回の、飯塚地区の計画としては、当初からの継続事業として市内の緑道公園の石畳の洗浄及び、歩道等のごみ収集を実施致します。近年地球規模での環境が問題視されておりますが、私たちは地域の中でビルメンテナンス業の仲間が揃い、より良い街づくりに貢献していきたいと考えています。

筑前・筑後地区

責任者
水口 詩朗 〔(株)グリーン商会〕

「都市ビル環境の日」も4年目を迎え、クリーンアップ福岡に対する認識も定着し協会各社、管理させて頂いているビルの周辺清掃はもろもろ市民にアピール出来る仕事は何か検討致しました。筑前・筑後地区は広範囲のため各地区毎に自治体と連携を取りながら一番望まれる場所（公園等）をプロでなければ出来ない仕事を致します。久留米地区…西鉄駅前の歩道橋の清掃、甘木地区…第二セクター甘木鉄道の車庫裏のワックス掛け等、知恵を絞って最大限にクリーンアップ福岡をアピール出来る日に致します。

（各地区の活動報告）